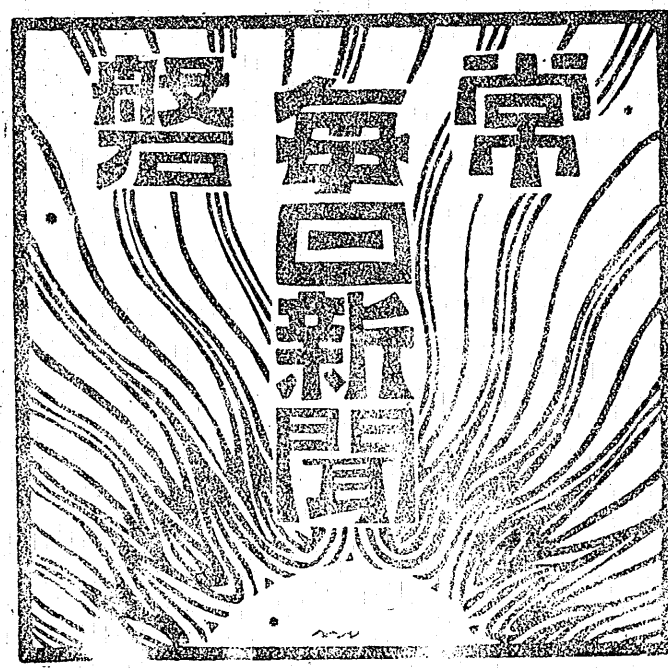


日刊 發行編輯人 川崎文也 本社下町番地(電話六三〇番) 印刷所 磐城毎日印刷所



定部金貳錢 廣一五號十二 字一十行 料五十五錢 日刊休日 日曜大衆 日刊休日 日曜大衆

刊夕日二十月六

常 磐 論 壇
半眞半戯の社會
(處世哲學の一片)
清 陰 生

實際のみの老年の人格なるが故に遂には忌避せらるる而して之を相調和し得ざるが爲め遂に失敗の地に陥るのである。極端の生面目は世に處する所以でない如く又餘りに輕視するも處世の道でない。必ず中庸を取りて人生半ば眞半ば戯と觀すれば庶幾くは神經衰弱に陥る如き虞はなからう。之を要するに青年期の心理は、進歩改良の源泉として出来る限り之を自由に發展せしむべく、之れあるが爲に社會に清新の事象が湧くしかも是れ主として空想信仰に屬するものなれば直ちに其儘實行せらるゝものでない

之が實行を即時に期するは未だ實際社會の進行過程を知らざるの致す所である。此故に青年心理を以て世に立つ場合は失敗に終り處世法としては馬鹿正直の部類たるを免れぬ而かも之を缺乏せしむるは由々しき事なれば須らく半眞半戯の世の中と見て之に處せねばならぬと云ふのである
(おはり)



内羅專門妙藥
愛馬散
小野屋藥店

自然に
輕快味湧き出る
夏の帽子
麥一文字帽
可愛お子さん方の
麥帽子も種々
新しい形が
陳列して有ります
平町四丁目
ツルヤ商店
電話百四十番

清新輕快
夏帽子
お氣に召さる品
がドツサリ着荷
しました。
ゼヒ御來店をお
待ちします。
平町二丁目
遠藤帽子店
電話一七八

季節向御料理大勉強
愈々公園の節
第一 割烹とさわわ
松ヶ岡公園池ノ端
電話二二六番

久金屋商店
松本のパン
1斤16錢 1ツ5錢
1型25錢 1ツ5錢
6ツ10錢
平町四丁目
マツモトヤ
電話二一四番

五月十六日ヨリ
婦人世界推賞
美術學校教授齊藤先生圖案
懸賞付
表現浴衣地陳列會
五月二十六日ヨリ
婦女會賞讚
オールスターキヤスト
(活動俳優好ミ)
草の葉染浴衣地陳
列會
中野吳服店
磐城平町三丁目
(電話六十七番)

學生服
厚全霜降小倉
小學生.....1.00ヨリ
特製中學生.....2.40ヨリ
平二なかや洋服店 電二〇三

外科專門
花柳病專門
木村外科醫院
入院自炊の便あり
平町五丁目橋際

磐城病院
内科。外科。婦人科。
小兒科。花柳病科。
平町田町本通り
入院隨時(電話二一四番)

常磐第一ノ磐城炭礦ノ石炭
大炭礦ナル磐城炭礦ノ石炭
ツ コークスノ特長
一、目方ノ正確
二、品質ノ優良
三、配達ノ迅速
ドーシテアンナ良イ品ヲソナニ安ク賣レルカト驚カ
レ一度使ハバ永久ニ使ヘ下サルノガ當店石炭ト「コ
クスノ特長
石炭は正十貫目 一俵金六十五錢也
平驛前
阿部石炭商店
(電話二三七番)

今大好評賣レルハク
御土産ニ御進物ニ御花見ニお茶會ニ
絕對限り平驛前ホテイヤの
薄皮まんぢゅう
製造本舖
布袋菓子舖
電話三五六番呼
徒弟募集 十三四歳位ノモノ三人 希望者御來談ヲ乞フ

吐くもはいたり 偽刑事外三十件

人間なんて甘いものご豪語 五丁目の石川文四郎

平町五丁目竹次郎三男窃盗
詐欺前科二犯石川文四郎（
三）は出獄後詐欺常習の罪
を重ねながら各地を放浪し
この程一仕事する目的で水
戸市に入り込んだところを
舉動不審で同署刑事に檢舉
されたが取調に對し吐くも
吐いたり福島、茨城兩縣に
跨がる偽刑事外三十件とい
ふ件数においては同署の最
高記録である犯罪を自白し
「人間なんて甘いものでご
んなにでも騙れる」と豪語
して居た

△二月勿來町大浦ツキ
ノ方で二回騙取△同日同
町自轉車屋芳賀武一方で
自轉車一輛△同日下向中
郷村大字小野自轉車業植
木竹次郎から一圓七十錢
騙取△同日大津町菓子製
造業鈴木貞介方軒下から
自轉車を窃取△同日同郡
節形村大字友部伊藤辨三
郎方から六十錢及び布呂
敷一枚騙取△同所石川ト
ヨ方から鶏卵二十個及び
菓子二十錢騙取△同所高
橋フクマツ方現金十圓騙
取した上三圓九十錢の無
銭遊興△三月二日笠間町
荒町鈴木信市方紺サージ
洋服一着三十五圓を窃取
△同日水戸觀梅に鈴木を
誘ひ自分金を拂ふと安心
させて奈良屋町伊藤トク
方に登樓二十圓を不拂逃
走△同日磯原町料理店鶴
見亭武藤サノ方宿泊し黒
ラシヤオーバー一枚（三
十圓）詰襟洋服（七圓）を
窃取△平町飲食店港屋女
將に雇婦を世話すると稱
し銘仙羽織外衣類三點騙

取△同月松原町藤枝隆方
で時價三十圓の二重廻し
外一枚△助川町で遊遊し
た同郡賀美村小菅福島捨
吉を日守嶺山役員に世話
すると欺き三十圓を騙取
△太田驛から水戸驛間列
車内で乗客の布呂敷包か
ら現金二十圓を中葉口七
十五圓積立の郵便貯金通
帳一冊を盗取△牛野小野政
江妻イチから外套一枚騙
取△同所高橋清次郎方か
ら傘一本を盗取△四月中日
立町小澤留次郎方からメ
ーセン女給外現金二十二
圓を盗取△全町沼田良一
方で十圓騙取△河原子町
日向野義方十圓と洋服一
着△バスケット一個△勿來
町助川誠方から二十圓騙
取△同所横山金太郎方で
自轉車一輛騙取△大津町
鈴木由之助方自轉車一輛
窃取△磯原町料理店松屋
で金圓時計一個を盗取△石
塚町加藤木寅吉方水呂印
材十一個水牛印材十五個
外敷點騙取△同方から十
圓へん取福島縣田村郡七
郷村吉田智方から一圓騙
取△五月四日同縣相馬郡
原ノ町枝川専之助で偽刑
事を名乗り一圓騙取△自
町佐野忠から同葉段△自
轉車一輛△同縣双葉郡長
塚村長塚吉田清松方で二
十圓蜜柑うごんメリンス
布呂敷一枚騙取

募株好望

平町に創立を決したる石城
養蠶同業並に同郡販賣利用
組合と片倉組とが提携資本
金二百萬圓の製糸會社の實

傳染病の流行期を控へ 平署が衛生施設に大奮

健康検診や不良飲料の検査

青葉の節も半すぎこれから
が愈々各種の傳染病の流行
期に入るの平警察署では
町當局と協力し下水道の掃
除や消毒に餘念ない一方市
内の

飲食店 は近々健康
検診を行ふとともに衛生設
備の有無等についても嚴重
調査し規則に違反せるもの
には斷乎たる處罰に出する
等である、なほ飲料水には
特に注意し堀井戸水は勿論
のことビールサイラムネ

等の清涼飲料水等に對して
は縣衛生課の應援をえて分
折その他適當な

方法を 以て嚴重な
検査をなすと共に例年の如
く衛生活動寫真や衛生思想
普及の宣傳ビラ等を各戸に
配附する計畫も立て各種傳
染病の豫防撲滅に豫念がな
い

平區會計検査 會計
検査院第三部第一課検査官
清水至氏は佐藤榮吉、西川

現は地方を擧げて喜ぶこと
ろで即ち齟齬とは不可離
のものであるに拘らず従來
賣買取引に相一致せざるも
の多きを遺憾とし斯業の完
全なる發達を養蠶家と製絲
家とが相結ぶところにある
のを養蠶同業が卒先着眼熱
心唱導の結果こゝに至つた
のは確に農村の一覺醒であ

カフエー荒し捕る 隊伍を組んで無錢飲食

住所不定無職双葉郡大久村
大字大久寺の作生れ無職
若松重雄（三）外五名は昨夜
隊伍を組んで平町七丁目カ
フエー幸樂で約十圓の飲食
を爲し一文も支拂はず更ら
に數軒のカフエーを飲み荒
し、平署猪狩、柴崎、半澤
の三刑事に逮捕され目下嚴
重取調中

健康保險 活動寫真上映

平町における縣健康保險署
主催の講演會及映畫の會は
十五日午後五時から同町平
劇場において開催される筈



レモンの効果

清涼飲料としての外に汗や
インシなどのしみぬきにな
る。熱がある時、のどの乾

り更に其組織經營の如き未
だ全國に例を見ない極めて
斬新堅實なもので財界不振
の折柄ではあるが株の募集
は割合困難でないらしい尙
同社の事業は左記の如くで
ある

生絲製造販賣、蠶種器具
桑苗肥料の賣買、以上に
附帯する一切の事業

家屋税決定 多少修正して

平町會でこの程可決した昭
和三年度の家屋税地位等級
決定した委員會の手に移さ
れて再審議を行はれ全部の
決定を見るに至つたのだが
修正可決されたものは左記
の通りで一等は二三四丁目
表通り二十等は新町梅香町
大館前町等前記通りである

修正案△紺屋町警察署北
隣及前角四等を三等に
△町高久病院前通り南
側九等を八等に△菅の澤
公園下九等を十二等△長
橋町尼子亭入口兩側及向
東側表通り尼子橋岸迄十
二等を十等△舊城跡丹後

田植獎勵 共十三日に玉川村

石城郡地方農村の田植期は
近付いて來たので目下準備
に忙殺を極めて居るが郡農
會では昨年より開始した共
同田植の成績が良好であつ
たのに鑑み今年には全郡下
に亘り共同田植の獎勵に奔
走を續けてゐるが玉川村島
農事實行組合では來る十三
日より組合の共同田植をな

募集 文藝其他投稿

澤邊り十四等を十六等に
△杉平胡摩澤北目の杉平
高橋下宿屋より北目好間
川邊り迄十四等を十三等
に改む

神谷農試 分場近況

總面積三町二反四畝を有
する石城郡神谷農事試驗
分場は創設以來既に五ヶ
年の星霜を経過してゐる
ので好成绩を擧げてゐる
が近況に就て稲田技師や
小高技手諸氏の説明を聽
いて見る

先づ大体に分類すると同場
の仕事は果樹類、蔬菜類、
水田それに花卉五種類位に
大別されてゐる

果樹類は 總面積一

町歩蔬菜類が一町六反歩其
の他が桑園と花卉である、
果樹類には梨、桃、葡萄、
梅、柿、林檎、無花果、栗
枇杷、莓等で其中で季節
向の莓は僅か二反歩だが年
收二百圓あり安價で美味な
處から

各方面の 歡迎を受
けてゐる、桃も今年が五年
目と云ふので今年からは苺
の向ふを張つて相當健啖家
を驚かす事であらう、其他
あんすと云ひ枇杷と云ひ何
れも期待されてゐる、蔬菜
では南瓜、茄子、水瓜、百
合、三ツ葉、トマト等が主
で玉菜、玉葱、午莠、人参
馬鈴薯なども

ニセ齒科醫 平署に檢舉

住所不定東京市下谷區西町
生れ無職有賀誠一郎（三）は
石城郡豊間江名の各村落を
巡り偽齒科醫を働き高價な
金入齒等を爲して居た事發
覺小山田豊間駐在巡查に檢
舉され目下平署にて取調中

他農家に 比較する
と成績はズツと優良である
こんな様な具合で一ヶ年の
實收人が二千圓それも年一
年と増加するばかりである
から經常費としての縣費の
八千圓は差し引き年々減少
するわけである